

琉球大学学術リポジトリ

スジイリコカマキリ *Statilia nemoralis* (Saussure, 1870) (昆虫綱: カマキリ目: カマキリ科)
の新北限産地の記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2020-10-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大島, 千幸, 瑤寺, 裕, Oshima, Kazuyuki, Tamadera, Yutaka メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/46848



スジイリコカマキリ *Statilia nemoralis* (Saussure, 1870)
(昆虫綱: カマキリ目: カマキリ科) の新北限産地の記録

大島千幸・瑤寺裕

〒243-0034 神奈川県厚木市船子 1737 東京農業大学昆虫学研究室

はじめに

記録

スジイリコカマキリ *Statilia nemoralis* (Saussure, 1870) は東南アジアから南アジア各地にかけて広く分布する中型種であり、褐色型と緑色型が知られる。国内における分布域はこれまで沖縄県に限られており、北限は伊平屋島とされていた(大島 2018) が、今回の調査によって、鹿児島県沖永良部島からも本種が得られたため、新たな北限および同島新記録として報告する。標本は乾燥標本とし、東京農業大学昆虫学研究室 (LETUA: Laboratory of Entomology, Tokyo University of Agriculture) に収蔵されている。

Statilia nemoralis (Saussure, 1870)

スジイリコカマキリ

(図 1)

調査標本・1 成虫 ♀ (LETUA-IC-2019-00737), 10. VII. 2019, 鹿児島県大島郡和泊町和泊 (27°24'05.0"N, 128°38'49.6"E), 瑤寺裕採集。

国内の既知分布・伊平屋島, 伊是名島, 沖縄島, 伊江島, 久米島, 宮古島, 石垣島, 西表島, 竹富島, 黒島, 与那国島 (岡田 2001; 佐々木 2002; 青柳 2015; 中峰 2016; 大島 2017, 2018; 大島・瑤寺 2019)。



図 1. スジイリコカマキリ, 成虫 ♀.

Fig. 1. *Statilia nemoralis* (Saussure, 1870), adult female.

採集状況．神社の灯籠にいたものが採集された．本種は走光性があり（岡田 2001; 中峰 2016; 大島 2017, 2018）本個体も灯火に誘引されたと考えられる．

備考．本種はコカマキリ *S. maculata* (Thunberg, 1784) に似るが，前脚腿節内側の内刺列基部の黒紋が帯状に繋がることと，雄交尾器の擦器がより太くかつ先端に向かって尖ること容易に識別できる．しかし，緑色型の個体では黒紋が繋がらないことが多く（中峰 2016），また，3 齢以下の若虫ではこの特徴は現れない（大島 2017）ため，上記の個体における同定には注意が必要である．

考察

今回の調査によって鹿児島県からも生息が確認されたが，今回得られた標本は 1 個体のみで，卵鞘や若虫などが見つかっていないことから，偶産の可能性も考えられる．杉本 (2014) によれば，本種は 1993 年頃には八重山諸島で普通に見られたものの，当時の沖縄島では生息が確認できず，1997 年以降に沖縄島の各地で見つかるようになったことから，その頃に沖縄島に侵入した外来種であることが示唆されている．本種の沖永良部島での定着については今後の調査が必要であるが，定着していた場合，1997 年以降に沖縄諸島から北上してきたものか，もしくは他地域からの移入と考えられる．

謝辞

本報告にあたり，東京農業大学の田中幸一博士には本文を校閲していただいた．ここに深く御礼申し上げる．

引用文献

- 青柳克，2015. 沖縄・宮古諸島における直翅系昆虫（ゴキブリ・カマキリ・バッタ）の分布追加記録．*琉球の昆虫*，39: 219–224.
- 中峰空，2016. カマキリ目．*日本産直翅類標準図鑑*（日本直翅学会 編）: 198–205, 学研プラス，東京．
- 岡田正哉，2001. *昆虫ハンターカマキリのすべて*．トンボ出版，大阪市．
- 大島千幸，2017. スジイリコカマキリとマエモンカマキリの久米島からの初記録．*昆虫（ニューシリーズ）*，20(3): 129–130.
- 大島千幸，2018. 沖縄島北部属島におけるカマキリ目 6 種の初記録．*昆虫（ニューシリーズ）*，21(2): 151–160.

大島千幸・瑤寺裕，2019. 沖縄県伊江島におけるカマキリ目 5 種の初記録．*Fauna Ryukyuan*，51: 1–7.

佐々木健志，2002. MANTODEA カマキリ目（蟷螂目），*琉球列島産昆虫目録 増補改訂版*（東清二 監修）: 47–49, 沖縄生物学会，西原町．

杉本雅志，2014. 沖縄島のスジイリコカマキリは移入種か．*琉球の昆虫*，38: 203–204.

New northernmost distribution record of *Statilia nemoralis* (Saussure, 1870) (Insecta: Mantodea: Mantidae) in Japan

Kazuyuki Oshima & Yutaka Tamadera

Laboratory of Entomology, Faculty of Agriculture, Tokyo University of Agriculture; 1737 Funako, Atsugi, Kanagawa 243–0034, Japan

Abstract. An adult female of *Statilia nemoralis* (Saussure, 1870) was first collected on Okinoerabu-jima Island. This specimen represents the northernmost distribution record in Japan and the first record from Okinoerabu-jima Island, Kagoshima Prefecture. Only one adult was collected in this study on Okinoerabu-jima Island, and no individuals at other developmental stages have been collected. Thus, it is uncertain whether a *S. nemoralis* population has been established on this island, or if this adult only temporarily occurred on Okinoerabu-jima Island.

投稿日：2019 年 10 月 17 日

受理日：2020 年 2 月 16 日

発行日：2020 年 4 月 7 日